

令和5年度大阪市建設事業評価有識者会議 事業再評価対象事業一覧表

番号	回次 記号	事業名	所管局	事業 再評価 理由 [回数] ※1	前回 全体 事業費 (億円) ※2	事業 開始 年度	前回 対応 方針	a	b	c		d	e	備考 (a～eの補足等)
								対応 方針 (案)	B/C	事業進捗率		全体事業費の 増減の有無 (増減額)	完了年度 延長の有無 (完了年度)	全体事業費の増減理由 完了年度の延長理由 対応方針の変更理由等
										前回評価時の 事業進捗率 (事業費ベース)	現在の 事業進捗率 (事業費ベース)			
1	第2回 イ	〔街路事業〕 東野田河堀口線（大手前）整備 事業	建設局	③ [5回目]	23	S56	継続B	継続A	1.77	60%	61%	有 (23億円⇒26億円)	有 (R6⇒R10)	【全体事業費の増減理由】 電線共同溝整備費等を追加したため 【完了年度の延長理由】 用地取得の遅れのため
2	第2回 ウ	〔街路事業〕 尼崎平野線（山王）整備事業	建設局	③ [5回目]	47	S50	継続A	継続A	1.71	48%	50%	有 (47億円⇒48億円)	有 (R7⇒R12)	【全体事業費の増減理由】 電線共同溝整備費等を追加したため 【完了年度の延長理由】 用地取得の遅れのため
3	第2回 エ	〔街路事業〕 豊里矢田線（鳴野・蒲生）整備 事業	建設局	③ [5回目]	150	S61	継続B	継続A	1.09	67%	68%	無 (150億円)	有 (R9⇒R12)	【完了年度の延長理由】 用地取得の遅れのため
4	第2回 オ	〔街路事業〕 正蓮寺川北岸線（伝法・伝法 東）整備事業	建設局	③ [5回目]	68	H1	継続C	継続A	1.12	41%	48%	有 (68億円⇒61億円)	無 (R13)	【全体事業費の増減理由】 ・鉄道交差部の構造変更による道路整備 費が減少したため ・電線共同溝整備費等を追加したため
5	第2回 カ	〔街路事業〕 尼崎堺線（住之江）整備事業	建設局	③ [5回目]	12	H6	継続B	継続A	2.08	64%	59%	有 (12億円⇒13億円)	有 (R6⇒R7)	【全体事業費の増減理由】 電線共同溝整備費等を追加したため 【完了年度の延長理由】 用地取得の遅れのため
6	第3回 ア	〔街路事業〕 正蓮寺川歩行者専用道整備事業	建設局	③ [3回目]	23	H15	継続B	継続A	4.96	62.3%	70.3%	有 (22.9億⇒22.4億)	有 (R7⇒R12)	〔完了年度の延長理由〕 事業施工期間について下水道事業及び公園 事業と一体で整備を行うものであるが、橋 梁の盛土工事等によるポンプ場関連工事 や基盤整備等に時間を要したために、当初 計画していた事業計画全体の遅れに伴い、R 7年度の完了が困難となったため。 〔全体事業費の変更理由〕 整備実績をもとにして事業費の精査を行っ たため。
7	第3回 イ	〔公園整備事業〕 正蓮寺川公園整備事業	建設局	③ [3回目]	67	H14	継続B	継続A	4.96	31.4%	38.9%	有 (67億⇒71億)	有 (R7⇒R12)	〔完了年度の延長理由〕 事業施工期間について下水道事業及び街路 事業と一体で整備を行うものであるが、橋 梁の盛土工事等によるポンプ場関連工事 や基盤整備等に時間を要したために、当初 計画していた事業計画全体の遅れに伴い、R 7年度の完了が困難となったため。 〔全体事業費の変更理由〕 正蓮寺川公園と交差する正蓮寺川の各橋梁 について、橋梁構造から盛土構造に変更し たため。

令和 5 年度大阪市建設事業評価有識者会議 事業再評価対象事業一覧表

番号	回次 記号	事業名	所管局	事業再評価理由 [回数] ※ 1	前回全体事業費 (億円) ※ 2	事業開始年度	前回対応方針	a	b	c		d	e	備考 (a～eの補足等)
								対応方針 (案)	B/C	事業進捗率		全体事業費の増減の有無 (増減額)	完了年度延長の有無 (完了年度)	全体事業費の増減理由 完了年度の延長理由 対応方針の変更理由等
										前回評価時の事業進捗率 (事業費ベース)	現在の事業進捗率 (事業費ベース)			
8	第2回 ア	〔下水道事業〕 大阪市公共下水道事業 (抜本的浸水対策事業)	建設局	③ [5回目]	9,600	S56	継続B	継続B	2.3	72%	74%	無 (9,600億円)	無 (R20)	
9	第3回 ウ	〔住宅事業〕 市営住宅建替事業 (大阪市地区地域居住機能再生推進事業)	都市整備局	①③ [2回目]	1,880	H28	継続A	継続A	1.01	【前計画 (H28～R7)】				令和3年3月に「大阪市営住宅ストック総合活用計画」の見直しを行っており、前回評価時 (H30年度) の計画 (H28～R7) と現行計画 (R3～R12) それぞれの進捗状況等を示す。
										18.2%	57.8%	有 (1,880億円 ⇒2,202億円)	—	
										【現行計画 (R3～R12)】				
										—	15.1%	有 (2,665億円 ⇒2,824億円)	—	
10	第1回 ア	〔新大学キャンパス整備事業〕 新大学キャンパス整備事業	副首都推進局	⑤ [1回目]	918	R1	—	継続B			12%			

【国庫補助事業】

- ①所管省庁の基準により事業再評価が必要なもの
- 【①以外で市が事業主体である事業】
- ②事業開始年度から起算して5年目の年度において、未着工または継続中の事業（令和元（平成31）年度に事業開始分）
- ③事業再評価を実施した年度から5年目の年度において、なお未着工または継続中のもの（平成30年度に事業再評価実施分）
- ④事業休止中の事業であって、翌年度に事業再開する事業（令和6年度に再開を予定している事業）
- ⑤その他市長が特に必要と認めるもの

※ 2 初回の再評価の場合は、事業開始時の全体事業費を表示しています